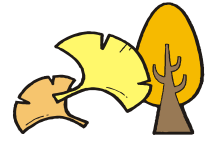




前照灯早め点灯

4時からライト！！



毎年、10月から12月の3ヶ月は、死亡事故など重大な結果となる交通事故が多発しています。

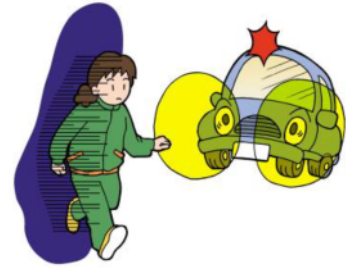
昨年も、10月に8人、11月に7人、12月に8人と、3ヶ月で23人もの人が亡くなっています。これは、年間の死者(65人)の約35%になります。

なぜ事故が多い？

日の入り時間が早くなるから

< 大津市の日の入り時刻 >

9月1日	午後6時24分
10月1日	午後5時41分
11月1日	午後5時03分
12月1日	午後4時45分



9月1日と12月1日では、約1時間40分も早くなっており、通勤や買い物など交通が輻輳する時間帯と日の入り時間が重なり、薄暗くなる時間が早くなって、交通事故の危険性が高まります。

ライトを点灯するタイミングが遅くなるから

7月や8月は午後7時を回ってもまだライトが要らないほど明るいですが、「秋の日は釣瓶落とし」と言われるように、「まだ早い」と思っているうちに辺りが暗くなって、道端の歩行者にドキッとした、という経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

気候が良く外出の機会が増えるから

紅葉狩りやドライブなど行楽に絶好の時期で、自動車等での外出の機会が多くなるほか、ジョギングなど屋外での運動の機会も増えます。



年末が近づくにつれ気ぜわしくなるから

年の瀬に向けて事業活動が活発になり、交通量が増加します。

どんな事故が多い？

昨年の10月から12月の交通事故を分析しますと、3つの特徴があります。

薄暮時間帯(16時～18時)に多発

昨年の10月～12月の交通事故2,411件のうち、387件(16.1%)が薄暮時間帯に発生しています。

死亡事故が多発

昨年の死者65人のうち、23人(35.4%)がこの3ヶ月に集中しています。

高齢者事故が多発

昨年の高齢者が関わる交通事故2,016件のうち、594件(29.5%)がこの3ヶ月間に発生しています。

事故防止対策は？

前照灯の早め点灯を！

「早め点灯 4時からライト！！」を合言葉に、自動車も自転車も早めにライトを点けて存在を目立たせましょう。



明るい色の服装や反射材を身に付けよう！

特に高齢者の方は、自動車などから早く見つけてもらえるように工夫しましょう。



速度を落として走ろう！

薄暮時間帯は辺りが見えにくいので、昼間より10キロは速度を落として走行しましょう。

全席シートベルトの着用を！

自動車乗車中の死者19人(8月末)のうち、10人がシートベルトを着用していませんでした。10人中、6人は着用していれば助かった可能性があります。大難を小難にするのはシートベルトです。

飲酒運転の根絶を！

飲酒運転が関係する事故は、昨年同時期より11件減少し、負傷者数は23人減少していますが、まだまだ後を絶ちません。みんなで飲酒運転を根絶しましょう。



10月から「早め点灯 4時からライト」で

夕暮れ事故をストップ！